

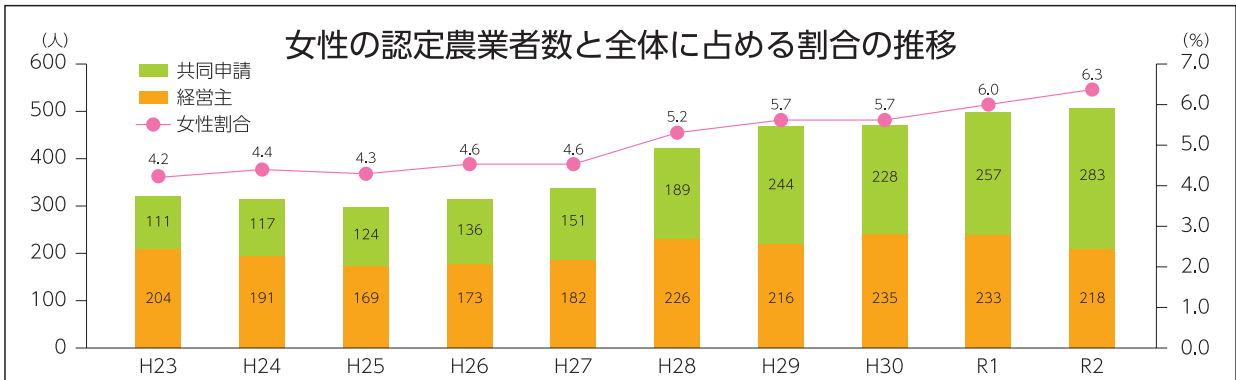
(4)女性農業者の活躍促進

女性の認定農業者数は令和2年3月時点で501名となっており、その内、経営主としては218名、共同申請による認定は283名となり、昨年に続き増加しています。

また、家族経営協定締結数は令和2年10月時点で3,812戸となり、前年から61戸が増加し、全国第3位の締結数となっています。さらに、農業委員に占める女性の割合は、令和2年5月時点で19.6%で全国第1位となっています。

「とちぎ農業女子プロジェクト」は、女性農業者が県域ネットワークを形成し、個々の経営発展を目指しています。また、令和元年度「次代を担う女性農業者研修」の受講者数は、延べ241人となり、地域の担い手となる女性農業者を育成しています。

今後とも「とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」に基づき、農業・農村のあらゆる場面で、男女が共に能力を発揮し活躍できる社会の実現を目指します。



認定農業者数	7,429	6,997	6,783	6,654	7,284	8,045	8,086	8,192	8,148	7,925
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

事例 進化するとちぎ農業女子プロジェクトのギフトブランド「とちポタジェ」

とちぎ農業女子プロジェクトは、本格的にスタートしてから令和2年度で5年目を迎え、メンバーの主体的な取組を通して、個々の経営発展を目指すプロジェクト活動を行っています。

平成30年度からスタートした「開発プロジェクト」では、メンバーの生産物・加工品を組み合わせ、とちポタジェ」というギフトブランドとして販売し、メンバーの取組やプロジェクト活動のPRにつなげています。

具体的には、ブランドのロゴマークを大学生と連携して考案したり、フレンチレストランのシェフの監修によるオリジナル商品を開発するなど、女性農業者が地域の幅広い人材を巻き込みながら農業の魅力を広く発信しており、さらに、消費者のアイデアをパッケージデザインに反映させるなど常に進化を続けています。



「とちポタジェ」を持つプロジェクトメンバー



令和2年度に商品開発されたレトルトカレー